

事業所名

クリエイティブサポートくじら（児発）

支援プログラム

作成日

2025年

2月

12日

法人（事業所）理念		<p>一．あなたの人権と尊厳を大切にします 一．誰もが支え合う地域の力となるよう努めます 一．あたたかい社会づくりに努力と研鑽を続けます 一．活力と透明性のある経営を目指します</p>								
支援方針		<p>(1) <input checked="" type="checkbox"/> こどもへの思いは 空よりも高く 海よりも深く ～こどもたちのやりたいやってみようを育てよう～」をスローガンに、5領域をすべて含めた総合的な支援を提供します。 (2) <input checked="" type="checkbox"/> 関係機関との連携を密に行い、こどもをまんやかにした支援の拡充を図ります。 (3) <input checked="" type="checkbox"/> 家族の相談支援の強化を行い、事業所内や家庭連携支援を行います。また、きょうだい児支援を行います。 (4) <input checked="" type="checkbox"/> 不登校児や将来を見据えた支援を行います。 (5) <input checked="" type="checkbox"/> 外部研修、内部研修、研修内容のアウトプットを通して職員の質の向上に努めます。 (6) <input checked="" type="checkbox"/> こどもたちが自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用児の意思決定の支援に配慮するよう努めます。</p>								
営業時間		8時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<p>基本的な生活習慣、食事、排泄、衣服の着脱等を繰り返して自立援助をします。 心身の健康状態の把握、時間や空間を意識した環境設定（スケジュール）の提示、絵カードの活用などを使った具体的な表示） 生活スキルの獲得（トイレトレーニング、食事支援きかえ、歯磨きなど）</p>								
	運動・感覚	<p>集団活動、感覚刺激、体操、ムーブメント等の課題を通して、基本的な運動機能の向上、仲間意識の確率を促します。 音楽遊びを通して、音楽の特性を生かし、こどもの心身に刺激を与え、情緒の育成、運動感覚機能の促進と知能の啓発を促します。 非常勤の音楽療法士や法人内他事業所の理学療法士などのセラピストと連携し、職員が共通理解を持って一人ひとりのこどもにかかわるように配慮します。</p>								
	認知・行動	<p>個々のアセスメントを行い、一人ひとりの状況に応じた支援を提供します。 視覚・聴覚・触覚等の感覚を活用して情報を収集し、行動に繋がれるようにしていきます。数や大きさ、色などの概念の理解を促す支援や感覚、認知の偏りによるこだわりへの支援等も行います。（タイマー活用、ブロック遊び、ソーシャルスキルトレーニングなど）</p>								
	言語 コミュニケーション	<p>表現活動、模倣、感覚遊び、指示理解「見る」「聞く」等の課題を通して、言語面での発達を促します。 集団活動を通して、他者とかかわる機会を提供し、コミュニケーション向上に向け、様々な経験、関わりができるように支援します。ことばによるコミュニケーションだけでなく、文字や記号ジェスチャーなどを活用しながら、意思の伝達が行いやすい方法で支援を行い、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりできるように支援します。</p>								
	人間関係 社会性	<p>他者との関係構築や集団参加に向けた支援を行います。保護者以外の大人との関係やお友達との関わりの中で安定した関係が気付けるようにしていきます。 一人遊びの状態から並行遊びを行い、支援者が介入しておこなう連動的な遊び、ルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、社会性の発達を促します。</p>								
家族支援		<p>こども自身や保護者が内面的に持つ力を発揮できるように、困り等の相談には、事業所内や家庭訪問等で、相談支援を行っていきます。きょうだい児支援では、それぞれの家庭でのきょうだいとしての思いなどを話し合い、自分だけではない事を知ってもらえるような取り組みとしていきます。また、きょうだいがヤングケアラーとなっていないか確認します。</p>			移行支援		<p>生活能力の向上のために必要な支援、社会との交流促進等の支援を行い、就学を見据えた活動内容を取り入れます。就学や就園へ向けては、ご家庭や関係機関との連携をしながらスムーズに就学・就園できるようにしていきます。また、家庭内での困りや養育環境の確認なども行いながら、必要な機関へつなぐようにしていきます。</p>			
地域支援・地域連携		<p>地域の保育所等、福祉機関、医療機関、ボランティア団体などと協力してこどもたちの成長と福祉をささえられるようにします。（地域のイベントへの参加、交流活動、保護者会、保護者向けの相談会や勉強会を行います。） より質の高い支援を提供できるように、保育所等との連携、医療機関との連携、行政との連携など地域へしっかり目を向けていきます。</p>			職員の質の向上		<p>外部研修・内部研修においては、受講後の報告をしっかりと行い職員に周知していきます。また、事業所内で必要な勉強会や研修を組み立て、職員の支援力を高められるようにしていきます。 すべての研修にはしっかりと目的意識を持ち、受講後にはその後どう取り組んでいるかなどを役職者等と確認をしていきます。また、他職員への報告後、事業所の変化等まで客観的に見る力をつけられるようにします。</p>			
主な行事等		<p>4月 保護者会 / 5月 芋植え、こどもの日 / 6月 避難訓練、他事業所交流会 / 7月 水遊び、地域交流会 / 8月 買物体験 / 9月 がんばろう会、交流会 10月 ハロウィン、芋ほり / 11月 避難訓練（消防署見学） / 12月 クリスマス会 / 1月 初詣、お正月体験 / 2月 節分 / 3月 お花見外出、ひな祭り その他：おたんじょうび会、身体測定</p>								